

27°C, 100 kPa で相対湿度83%の空気が10 L の体積を占めている。この空気中に含まれる水蒸気の質量はおよそいくらか。

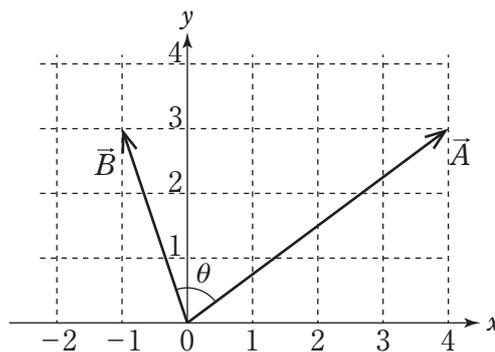
ただし、気体は理想気体と見なせるものとし、27°Cでの飽和水蒸気圧は3.6 kPa, 気体定数は $8.3 \text{ Pa m}^3 \text{ K}^{-1} \text{ mol}^{-1}$ , 原子量は $\text{H} = 1.0$ ,  $\text{O} = 16.0$ とする。

1. 0.035 g
2. 0.042 g
3. 0.14 g
4. 0.22 g
5. 2.4 g

〔正答番号〕 1 2 3 5

図のように、二つのベクトル  $\vec{A}$ ,  $\vec{B}$  がある。二つのベクトルのなす角を  $\theta$  としたとき、 $\cos\theta$  の値はいくらか。

1.  $\frac{1}{\sqrt{10}}$
2.  $\frac{3}{\sqrt{10}}$
3.  $\frac{1}{\sqrt{13}}$
4.  $\frac{3}{\sqrt{13}}$
5.  $\frac{1}{3\sqrt{13}}$



〔正答番号〕 2 3 4 5

惑星の公転運動に関する次の文中の空欄のうち、イ、ウ、エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

質量  $m$  の惑星が質量  $M$  の太陽の周りを速さ  $v$  で半径  $r$  の円運動をしている。このとき、惑星に働く太陽との間の万有引力の大きさは万有引力定数  $G$  を用いて  と表される。この力が円運動を行うために必要な向心力  になっていることから、 $v$  と  $r$  の関係式  $v =$   が導かれる。この結果、惑星の公転周期  $T$  と円の半径  $r$  の関係式  $T =$   が得られる。

	イ	ウ	エ
1.	$m\frac{v^2}{r}$	$\sqrt{\frac{GM}{r}}$	$\frac{2\pi}{\sqrt{GM}}r^{\frac{1}{2}}$
2.	$m\frac{v^2}{r}$	$\sqrt{\frac{GM}{r}}$	$\frac{2\pi}{\sqrt{GM}}r^{\frac{3}{2}}$
3.	$m\frac{v^2}{r}$	$\sqrt{\frac{GM}{r^3}}$	$\frac{2\pi}{\sqrt{GM}}r^{\frac{1}{2}}$
4.	$mr v^2$	$\sqrt{\frac{GM}{r^3}}$	$\frac{2\pi}{\sqrt{GM}}r^{\frac{1}{2}}$
5.	$mr v^2$	$\sqrt{\frac{GM}{r^3}}$	$\frac{2\pi}{\sqrt{GM}}r^{\frac{3}{2}}$

〔正答番号〕 1 3 4 5

濃度  $x$  [molL<sup>-1</sup>] の塩酸 75 mL と濃度  $x$  [molL<sup>-1</sup>] の水酸化ナトリウム水溶液 25 mL とを混ぜ合わせて 100 mL の水溶液を作ったところ、この水溶液の pH は 5.00 であった。 $x$  はいくらか。

1.  $2.5 \times 10^{-6} \text{ mol L}^{-1}$
2.  $1.0 \times 10^{-5} \text{ mol L}^{-1}$
3.  $2.0 \times 10^{-5} \text{ mol L}^{-1}$
4.  $5.0 \times 10^{-5} \text{ mol L}^{-1}$
5.  $1.0 \times 10^{-4} \text{ mol L}^{-1}$

〔正答番号〕 1 2 4 5

次の記述ア～ウはそれぞれ、ある金属の性質や用途に関する記述である。記述と金属の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア．鉄よりも電気伝導率，熱伝導率が低い。軽量で強度，耐食性に優れることから，巨大施設の屋根などにも用いられる。また，超伝導材料や形状記憶材料などに用いられる。酸化物は防菌・防臭用の光触媒として用いられる。
- イ．鉄よりも標準電極電位が低く，鋼板の防食材料に用いられるほか，乾電池の負極材料にも用いられる。融点が低く加工しやすいことから，鋳造品用の合金材料などに用いられる。
- ウ．面心立方格子の結晶構造をとり，融点は鉄と同程度で，耐食性に優れ，強磁性を示す。ステンレス鋼のほか，電熱線，形状記憶材料，電池の正極材料などに用いられる。

	ア	イ	ウ
1.	Al	Sn	Ni
2.	Al	Zn	V
3.	Ti	Sn	W
4.	Ti	Zn	Ni
5.	Ti	Pb	V

〔 正 答 番 号 〕 1 2 3 5

次のうち、原料とその原料から得られる高分子化合物の組合せとして妥当なのはどれか。

原料	高分子化合物
1. アクリル酸メチル	メラミン樹脂
2. イソプレン	合成天然ゴム
3. $\epsilon$ -カプロラクタム	ポリエステル樹脂
4. 尿素, ホルムアルデヒド	フェノール樹脂
5. マレイン酸, エチレングリコール	エポキシ樹脂

〔正答番号〕 1 3 4 5

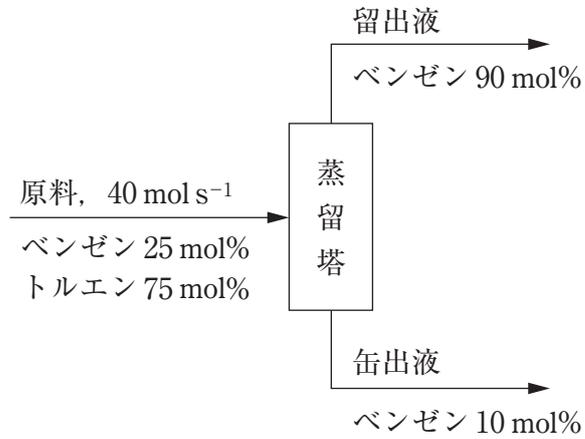
次のア～オの界面活性剤を，カチオン界面活性剤，アニオン界面活性剤及びその他の界面活性剤（両性界面活性剤及び非イオン界面活性剤）に正しく分類しているのはどれか。

- ア．セッケン
- イ．ポリエチレンオキシド
- ウ．アルキルピリジニウム塩
- エ．アルキルアリアルスルホン酸塩
- オ．アルキルジメチルアンモニウムベタイン

	カチオン 界面活性剤	アニオン 界面活性剤	その他の 界面活性剤
1.	ア	イ，エ	ウ，オ
2.	ア，イ	エ	ウ，オ
3.	ウ	ア，エ	イ，オ
4.	ウ，オ	ア，イ	エ
5.	エ，オ	ア	イ，ウ

〔正答番号〕 1 2 4 5

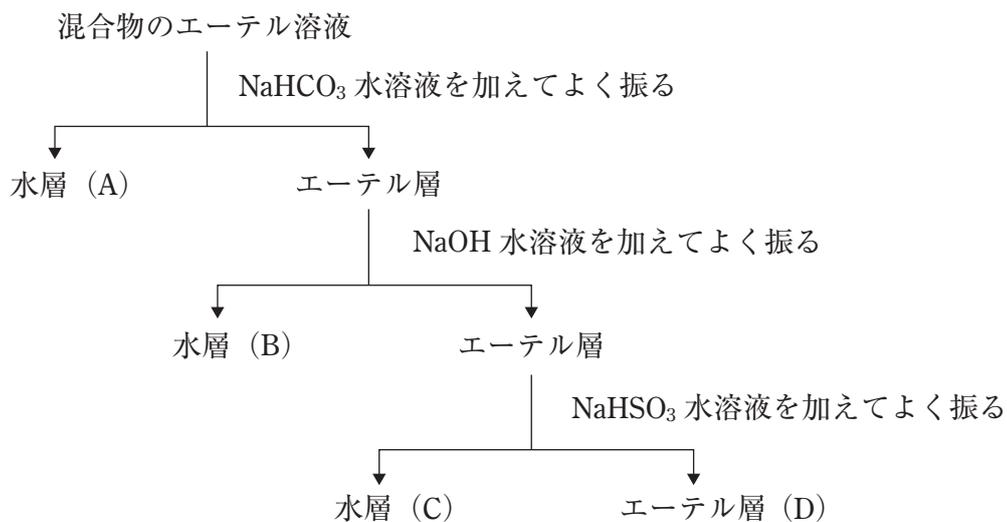
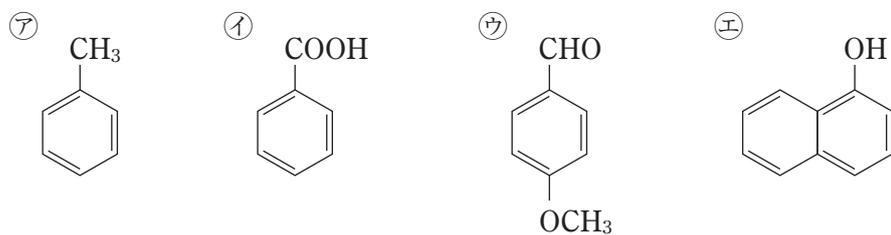
図のように、原料としてベンゼン 25 mol%、トルエン 75 mol% の混合液を  $40 \text{ mol s}^{-1}$  の割合で蒸留塔に供給し、塔頂からベンゼン 90 mol% の留出液を、塔底からベンゼン 10 mol% の缶出液を得た。このとき、留出液の流量はいくらか。



1.  $4.5 \text{ mol s}^{-1}$
2.  $7.5 \text{ mol s}^{-1}$
3.  $10 \text{ mol s}^{-1}$
4.  $12 \text{ mol s}^{-1}$
5.  $16 \text{ mol s}^{-1}$

〔正答番号〕 1 3 4 5

㉗～㉛の化合物の混合物をエーテルに溶かし，図の操作方法に従って分離した。図中の(A)～(D)に分離される化合物の組合せとして妥当なのはどれか。



- |    | (A) | (B) | (C) | (D) |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 1. | ㉘   | ㉙   | ㉚   | ㉗   |
| 2. | ㉘   | ㉚   | ㉗   | ㉙   |
| 3. | ㉘   | ㉚   | ㉙   | ㉗   |
| 4. | ㉚   | ㉘   | ㉗   | ㉙   |
| 5. | ㉚   | ㉘   | ㉙   | ㉗   |